



内藤みつお

後援会だより

2024年1月発行
No.24

発行
内藤みつお後援会

〒350-1384

埼玉県狭山市新狭山1-10-1

TEL 04-2954-7690

思いやりと行動力 魅力と活気の追求



さやま「大茶会」(稲荷山公園)

新年明けまして

おめでとうございます

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

日頃より、内藤みつおの活動に對しまして、ご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は議員活動四期目を迎え、高齢者福祉や子育て支援の充実などに加え、厳しい経済環境下において、地方自治体の健全な発展のために様々な問題提起や、意見提言を行ってまいりました。

また、若い世代を対象とした支援策の強化や、企業誘致等の雇用の創出により、人口減少対策にも一定の効果が出てまいりました。

本年、狭山市は市制施行70周年を迎えます。引き続き市民目線、働く方々の視点を踏まえ『思いやりと行動力』・『魅力と活気の追求』を行動指針とし、狭山市が将来にわたり健全に発展していくよう全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

本年が皆様にとって幸多き年になりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

狭山市議会議員

内藤 光雄



内藤みつお 議会報告



令和5年 第3回定例会（9月議会） 一般質問（質疑抜粋）

●狭山市が令和6年7月に市制施行70周年を迎えることを踏まえ、これまでの周年事業を振り返り、課題や成果の分析状況及び、70周年を契機とした記念事業の内容等について質問を行いました。

質問

答弁（企画財政部長）

70周年事業の観点と目的は？

市民と共に祝い、本市の発展のために尽力いただいた方々へ謝意を表すと共に、豊かな未来を市民と一緒に築き、さらなる発展や郷土愛の醸成に繋げる契機としたい。

これまでの課題や反省項目の対応及び、時代の変化をどのように反映していくのか？

市制施行70周年の年を迎えることを早い段階で市民及び団体等に周知していくことが課題になると考えている。また、コロナ禍において、ワージントン市の中学生と市内中学生がオンラインによる音楽等の交流を行ったような、デジタル技術を事業等に活用していくことも検討している。

小中学生を対象とした事業実施の見解は？

70周年を記念して、給食の特別メニューを提供することや、絵画コンクールを実施するなど、児童・生徒の心に残るような事業が実施できるよう調整している。

70周年を契機に市民及び市内事業者に伝えたいことや求めたい事項は？

多くの方に周年事業に参画いただき、子どもたちに確かな未来を残し、次世代に誇れるまちへと発展させていくための理解と協力を求めている。



70周年を契機に狭山市が持続的に発展できるよう活性化事業等の実施など、自治体の魅力を高める施策が必要と考える見解は？

市への郷土愛の醸成に繋がる取り組みとして、市内4つの大学の学生による70周年をテーマとした連携事業を実施する予定である。また、入曽駅周辺整備事業が令和6年度中に完成予定であることから、70周年事業の締めくくりに「まちびらきイベント」の実施を調整している。



●学校給食の食中毒や異物混入の防止策及び、食物アレルギーのある児童生徒が増加傾向にあることを踏まえ、アレルギーを除いた「除去食」の提供状況とアナフィラキシーの対策について質問を行いました。

質問

答弁（学校教育部長）

調理員の健康管理及び衛生管理は？



文部科学省等の各種マニュアルに基づき、日常的に、発熱、嘔吐、下痢、爪や手の傷の有無と、毎月2回以上の保菌検査などの健康管理を実施している。また、作業服、マスク、靴は清潔であるか、髪の毛がしっかり帽子で覆われているか、などの衛生管理を実施している。

虫や、破損した調理器具・備品等の異物混入防止対策は？

給食センターの調理室は、エアシャワーなどが設置され、虫が入らない設備となっている。また、各学期開始前に施設内消毒を行い、害虫駆除を実施している。調理器具、備品等については、使用前、使用後に損傷等がないか目視確認をしている。

アレルギーを除いた「除去食」の提供状況及び近年の推移は？また、アレルギーの原因となる食材は？

令和5年4月現在で小学校58食、中学校10食の合計68食を提供している。令和元年4月は小学校58食、中学校9食の合計67食であり大きな変化はない。学校給食では5大アレルギーを対象としているが、給食で使用しない「ソバ」と「落花生」を除く「卵」「乳」「小麦」を除去の対象食材としている。

教職員への食物アレルギーに対する教育や研修の状況は？

年度当初にアレルギーのある児童生徒について共通理解を図っている。また、教職員がアレルギーに対する危機意識を高め、食物アレルギーの基礎知識を学び、アレルギーの種類や症状、緊急時の対処法について理解を深める研修を実施している。

アナフィラキシー症状に対応する、自己注射薬「エピペン」を打つことの研修や実施訓練の状況は？

全ての職員を対象にアレルギーの基本的な知識や迅速な対応を確認すると共に、エピペンの正しい使い方について練習用エピペントレーナーを使い、実施訓練を行っている。



内藤みつお 地域活動報告



埼玉県防犯キャンペーン



入間川クリーン作戦



令和6年度予算要望



民間学童保育室視察



連合地協クリーンキャンペーン

令和5年 第4回定例会（12月議会） 一般質問（質疑抜粋）

●狭山市の今後の高齢者人口や、介護保険利用者が増加傾向にあること踏まえ計画された「第8期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の現在の進捗状況と今後の高齢化の見込みについて、また、令和6年からスタートする第9期計画の策定状況について質問を行いました。

質問

答弁（健康推進部長）

今後予測される65歳以上の高齢者人口及び高齢化率は？

高齢者人口と高齢化率の将来推計については、令和7年に4万8,889人（33.7%）、団塊ジュニア世代が高齢者となる令和22年には5万1,658人（41.3%）になると見込んでいる。

今後予測される65歳以上の要支援・要介護認定者数及び認定率は？

今後の認定者数と認定率は、令和7年に8,319人（17.0%）、令和22年には、1万1,429人（22.1%）になることを見込んでいる。

一般介護予防事業の推進として取り組む「いきいき百歳体操」サポーターの養成状況は？ また「いきいき百歳体操」自主グループ数の目標達成状況は？

養成講座を年2回、定員40名で開催しており、令和3年度は30名、令和4年度は26名、令和5年度は64名が受講し、合計で268名が講座を修了している。また、自主グループ数の設置目標を57か所としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響等で活動の休止や、新規参加グループの減少等で現在38か所の設置となっている。

認知症施策として推進してきた「認知症地域支援推進員」及び「認知症初期集中支援チーム」の活動状況と成果は？

認知症サポーター養成講座の開催や、認知症の症状がある方の初期対応に応じるなどの活動を行っており、認知症の方やその家族が状況に応じた適切なサービスを受けられるよう、関係者との連携体制や相談支援体制を構築している。



令和2年4月に新たに創出された「チームオレンジ」と「チームオレンジコーディネーター」の活動状況は？

地域で暮らす認知症の方や、家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつけることで、認知症に優しい地域づくりに取り組んでいる。また、認知症の正しい知識の普及・啓発に取り組んでいる。

介護人材の確保、処遇の改善に向けた支援の取り組み状況は？

埼玉県介護人材確保総合推進事業と連携し、介護のお仕事説明会・相談会の開催及び介護報酬の処遇改善加算等に係る届出について、ホームページ等で周知した。

第8期計画の反省を踏まえ、第9期の計画において見直す項目及び、新たに追加する施策等の検討状況は？



第9期計画は、高齢者人口がピークとなる2040年を見据えて策定することが求められており、認知症高齢者の増加で介護サービスの需要がさらに拡大・多様化することへの対応や、介護を支える人的基盤の確保が重要であると捉えている。また、医療と介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保・連携強化を図るとともに、様々な介護予防の事業に取り組む必要があると考えている。

令和4年度 狭山市一般会計 決算概要

- 歳入：約537億5,491万1千円（前年度比 ▲5.16%）
- 歳出：約511億1,690万円（前年度比 ▲4.99%）
- ◆形式収支：約26億3,801万1千円（歳入－歳出）
- ◆実質収支：約22億503万6千円
（形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた金額）
- ◆単年度収支：▲約4億2,990万1千円（前年度比 ▲約22億9,796万4千円）
（当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた金額）
- ◎基金残高：約104億円（令和4年度末残高）（前年度比 +約4億円）

令和4年度決算では、令和3年度に続いて歳入、歳出ともに大幅な減額となりました。これは、新型コロナウイルス感染症対策のための国庫支出金が約18億円、市の借入金となる市債が約26億円減少したことが大きな要因となっています。また、緩やかな景気回復の影響を受け、歳入の根幹である市税の全ての税が増加しており、全体として、平成30年度以来の収支増となりました。単年度収支が約4億円の赤字となりましたが、令和4年度の実質収支が約22億円あることから、問題は無いと捉えています。また、令和3年度末の土地開発基金を除く各種基金（貯金）の残高総額は約104億円で、前年度より約4億円増額となり堅調に推移しています。これは、今後の各種施策の財源確保が出来ていることであり当面は安定的な財政運営が出来るものと捉えています。

	年度	狭山市	所沢市	入間市	飯能市	日高市	川越市	財政用語・指標の説明
財政力指数	4	0.870	0.949	0.890	0.725	0.831	0.948	財政力の強弱を示す指標（3年平均） 【財政の豊かさ指数】 ▶「1」を越えると交付税の不交付団体（単年度）
	3	0.889	0.958	0.910	0.747	0.855	0.956	
	2	0.912	0.973	0.930	0.769	0.875	0.974	
	元	0.912	0.971	0.930	0.774	0.878	0.975	
經常収支比率	4	93.6%	92.7%	97.7%	91.1%	91.7%	98.9%	使い道が決まっている経費の割合 【固定経費の割合】 ▶数字が大きいと財政が硬直化する
	3	85.5%	90.0%	90.3%	85.5%	88.9%	95.2%	
	2	93.4%	95.0%	97.0%	92.9%	94.1%	96.9%	
	元	93.4%	94.5%	96.5%	93.8%	95.1%	99.8%	
実質収支比率	4	7.6%	15.9%	5.7%	10.9%	12.2%	12.7%	歳入歳出の実質的な収支の差 【実質収支の財政規模に対する割合】 ▶数字が大きいくほど赤字が多い
	3	8.9%	11.9%	7.2%	8.4%	12.4%	11.1%	
	2	2.7%	8.9%	4.5%	9.3%	10.6%	6.2%	
	元	1.1%	7.4%	3.8%	5.3%	6.5%	5.2%	
市民一人あたりの地方債残高	4	¥230,459	¥182,868	¥207,363	¥411,523	¥297,170	¥257,415	▶金額が少ないほど良いが人口増減に左右される「借金」
	3	¥246,608	¥191,885	¥217,943	¥428,001	¥303,554	¥273,520	
	2	¥243,834	¥192,592	¥216,950	¥411,396	¥307,442	¥277,224	
	元	¥245,740	¥189,668	¥215,594	¥413,972	¥299,167	¥284,411	
ラスパイレース指数	4	101.2	101.3	100.9	97.9	99.5	101.7	▶100以下であれば市職員の給与の方が国家公務員より低い ※国家公務員を100とした時の給与水準
	3	100.6	101.4	100.9	98.3	98.9	102.3	
	2	100.9	101.4	102.4	98.5	99.3	102.0	
	元	101.0	101.2	102.7	98.3	98.5	102.1	

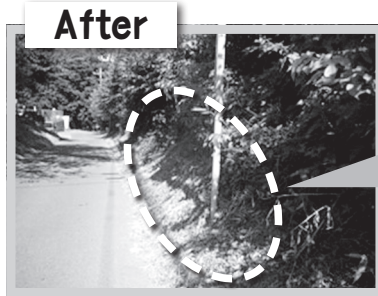
考察 財政指標比較において「財政力指数」「經常収支比率」「実質収支比率」の全てが悪化したものの、借金といわれる「地方債残高」が人口が減少している状況で減額したことは、評価できると受け止めています。

地域の困りごと 改善報告

改善事例 柏原地区

道路わき雑草の刈り込み

道幅の狭い道路に雑草がはみ出ており、歩行者や自転車の通行の妨げになる。また、自動車等とのすれ違い時に接触するなど、危険な状況にあることを行政に打ち上げ、除草につなげました。



引き続き困りごとの解決に取り組んでまいります！ 皆様からの声をお聞かせください！



ご存知ですか？

狭山市市議会中継

検索

狭山市議会の『インターネット録画配信』

狭山市議会では、インターネット録画配信を行っており、一般質問などの様子を見ることができます。右記QRコードよりスマートフォンでも視聴できますので、どのような議論がされているのかをぜひご覧ください。

【狭山市議会 定例会一般質問の録画配信】

【12月議会一般質問】 http://sayama.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=1250

【9月議会一般質問】 http://sayama.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=1227



内藤みつおの
一般質問が
視聴できます！

一般質問動画配信

9月議会



12月議会



【QRコード】は株式会社デンソーウェブの登録商標です



内藤みつお後援会会長

照井直

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃より内藤みつおの活動に對しまして、ご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。
昨年九月より新たに後援会会長を任せていただくことになりました、照井と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
昨年は第二十回統一地方選挙におきまして皆様の厚いご支援をいただき、四回目のトップ当選で狭山市政へ送り出すことができました。重ねて御礼を申し上げます。
内藤みつおはこれまでご支援いただいている皆様とコミュニケーションを図りながらより一層、狭山市発展のため、より暮らしやすい環境づくりのため、精力的に取り組んでまいりますのでご期待いただければと思っております。
〓思いやりと行動力〓魅力と活気の追求〓を約束の言葉に皆さんにとって役に立つ議員、頼りになる議員となるべく日々邁進しております。狭山市の将来を見据え、新しい発想と知見を持ちながらスピード感を持ち取り組んでいますが、ただ理想を追い求めるだけではより良い政策制度にはつながりません。やはり、現場、現物、現実に基づいた、しっかりと地に足のついた議論をすることを大切にしております。
皆様のご期待にお応えできるよう、皆様に寄り添った議論とためになる政策制度の実現に向け信念を持って取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとってより佳き一年となりますよう、ご健康とご多幸を内藤と共に心よりお祈り申し上げます。

ご意見ご要望をお寄せ下さい

内藤みつお後援会事務所 TEL 04-2954-7690